

やまがた緑環境税を活用した取組み

【平成 26 年度 荒廃森林緊急整備事業の取組み事例】 最上総合支庁

整備区分	針広混交林整備 【 抜き伐り 】				
整備箇所	金山町大字飛森字手代森 地内			事業主体	山形県
整備面積	0.6ha	樹種	スギほか	林齢	34年生
整備内容	<p>当箇所はスギの植栽後に、間伐等の施業が適切に行われなかったため、立木が過密状態になり、薄暗い森林であった。このため、森林所有者の意向や森林の状況などを踏まえ、針葉樹と広葉樹が混じり合った自然林への誘導をねらいとして、スギを4割程度伐採した。整備後は、混み合っていた林内にすっきりとした空間ができて明るくなり、針広混交林への転換が期待できる。</p>				



整備前



整備後

整備区分	長期育成林整備 【 間伐 】				
整備箇所	最上町大字満沢字市の沢 地内			事業主体	山形県
整備面積	31.9ha	樹種	スギ	林齢	38年生
整備内容	<p>当箇所はスギの植栽後に、間伐等の施業が適切に行われなかったため、立木が混み合い、雪害を受けて幹折れした木が広範囲に認められるなど、荒廃が進んでいた。このため、様々な樹齢から構成される健全なスギ林への誘導をねらいとして、荒廃した森林を集約し、間伐を一体的に実施した。整備後は、スギの生育空間が確保されたことにより、立木の健全な生長が期待できる。</p>				



整備前



整備後

やまがた緑環境税を活用した取組み

【平成 26 年度 荒廃森林緊急整備事業の取組み事例】 最上総合支庁

整備区分	里山林再生 【 抜き切り 】				
整備箇所	真室川町大字大沢字大向山 地内			事業主体	山形県
整備面積	2.2ha	樹種	ナラ	林齢	58年生
整備内容	<p>当箇所はナラ枯れ被害を受けた大径のミズナラが、立ち枯れ状態になっており、このまま放置すれば道路などに倒れこむ危険性が高い森林であった。このため、倒木による危険性を未然に除去するとともに、森林の若返りをねらいとして、枯れた木を伐採した。</p> <p>整備後は、伐採した木が整然と集積され、視界が開け明るい森林になり、森林の公益的機能が強化された。</p>				



整備前



整備後

整備区分	里山林再生 【 森林景観整備 】				
整備箇所	鮭川村大字川口字泉川前山 地内			事業主体	鮭川村
整備面積	1.1ha	樹種	スギ	林齢	55年生
整備内容	<p>当箇所は新庄市から鮭川村に至る幹線道路沿いのスギ林で、下草やつるなどが繁茂し、やぶ状であった。このため、森林景観の改善をねらいとして、下草や低木の刈り払いなどを実施した。</p> <p>整備後は、森林の美観に加え、道路からの見通しが良好になったほか、森林の生育環境が改善された。</p>				



整備前



整備後